

サブ課題 E Q&A

Q1. SIP「豊かな食」におけるサブ課題Eはどのような位置付けですか

SIP「豊かな食」では、サブ課題A～Dにおいて、これまでにない新しい技術や用途等の研究成果を創出します。サブ課題Eは、これら新しい技術や用途等について、1) パーセプションギャップの解消を図るとともに、2) 本課題の成果を活用しつつ食の二極化に対応した食習慣の改善に向けた手法の開発を通じて、成果の社会実装を推進するという位置付けです。

Q2. 2)の食習慣改善に向けた手法開発について、目標設定はどのように考えればよいでしょうか。

開発する手法の活用による食習慣改善の効果について、定量的かつ計測可能な目標を設定していただくことが必要です。例えば、「第4次食育推進基本計画における食育の推進に当たっての目標」※のうち関連する目標を選び、現状値と目標値の乖離要因を踏まえて、SIPで開発する手法でどのように改善するかというKPIを立てていただくことが考えられます。

※我が国の食生活の現状と食育の推進について（p.4及びp.9参照）

<https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/attach/pdf/index-24.pdf>

Q3. 研究開発計画(34頁)に「これら、手法の開発にあたり、収集した情報をAIやアルゴリズムも活用して解析し～」との記載があるが、AIやアルゴリズムの活用が必須ですか。

必須ではありません。